

# 茨城工業高等専門学校名誉教授称号授与規則

〔 昭和 51 年 12 月 15 日 〕  
制 定

(趣旨)

**第1条** 学校教育法(昭和22年法律第26号)第106条及び第123条の規定に基づき、茨城工業高等専門学校名誉教授(以下「名誉教授」という。)の称号の授与については、この規則の定めるところによる。

(資格)

**第2条** 名誉教授の称号は、本校を退職した校長又は教授が、次の各号の一に該当する場合、校長は選考の上、これを授与する。

- (1) 本校の校長として功労のあった者
- (2) 本校の教授として15年以上勤務した者で、教育上又は学術上功績のあった者
- (3) 本校の教授として、前号の勤務年数は有しないが、教育上又は学術上功績が特に顕著であったと認められる者

(教授在職年に通算する年数)

**第3条** 本校教授としての勤務年数には、本校准教授及び専任講師として勤務した年数の2分の1を通算することができる。ただし、本校教授として8年以上勤務した者に限りこれを適用する。

(選考手続)

**第4条** 第2条の規定に該当し名誉教授の称号を授与することを適当と認める者があるときは、次に掲げる者は、別紙様式第1の推薦書により校長に申し出るものとする。

- (1) 第2条第1号 運営会議委員の3分の1以上の者
- (2) 第2条第2号及び第3号 当該系長及び一般教養部長(当該系及び部の会議の議を経るものとする。)

2 校長は、前項の申し出があったときは、これを運営会議の議に付さなければならない。

(称号授与)

**第5条** 名誉教授の称号は、別紙様式第2により授与する。

(称号授与の取消し)

**第6条** 名誉教授に、その名誉を汚す行為があったときは、運営会議の議を経てその授与を取消し、前条の書面を返付させるものとする。

2 名誉教授に選考された者に、その称号の授与までに名誉教授にふさわしくない行為があったときは、運営会議の議を経て、名誉教授の称号を授与しないものとする。

(雑則)

**第7条** この規則に定めるもののほか、名誉教授の称号の授与に関し必要な事項は、校長が別に定める。

## 附 則

1 この規則は、昭和51年12月15日から施行し、昭和51年4月1日から適用する。

2 茨城工業高等専門学校名誉教授称号授与規則第2条第2号の規定の適用については、同規則第3条の規定にかかわらず、当分の間、別に定める基準により本校教授としての在職年数に通算することができる。

## 附 則

この規則は、昭和60年4月1日から施行する。

## 附 則

この規則は、平成3年10月1日から施行する。

## 附 則

この規則は、平成19年4月1日から施行する。

## 附 則

1 この規則は、平成22年6月15日から施行する。

2 茨城工業高等専門学校名誉教授称号授与規則第2条第2号の規定の適用については、別に定める基

準により本校教授としての在職年数に通算することができる。

**附 則**

この規則は、平成 26 年 3 月 11 日から施行する。

**附 則**

- 1 この規則は、平成 28 年 2 月 10 日から施行し、平成 29 年 4 月 1 日から適用する。
- 2 この規則施行の際は、平成 16 年度以降に本校を退職した校長又は教授に適用する。

**附 則**

この規則は、平成 29 年 4 月 1 日から施行する。

**附 則**

この規則は、平成 30 年 2 月 14 日から施行する。

# 推 薦 書

平成 年 月 日

茨城工業高等専門学校長 殿

推薦者 職 名  
氏 名

印

茨城工業高等専門学校名誉教授称号授与規則第4条の規定に基づき、下記の者を名誉教授称号授与者として推薦します。

## 記

1 系又は部名・職名・氏名
2 推薦理由
3 規則該当条項（該当する条項に○を付してください。） 規則第2条 [ 第1号 第2号 第3号 ]

第 号	本 籍	氏 名	年 月 日 生
学校教育法第百六条及び第百二十三条の規定により茨城工業高等 専門学校名誉教授の称号を授与する			
年 月 日			
茨城工業高等専門学校			
印			